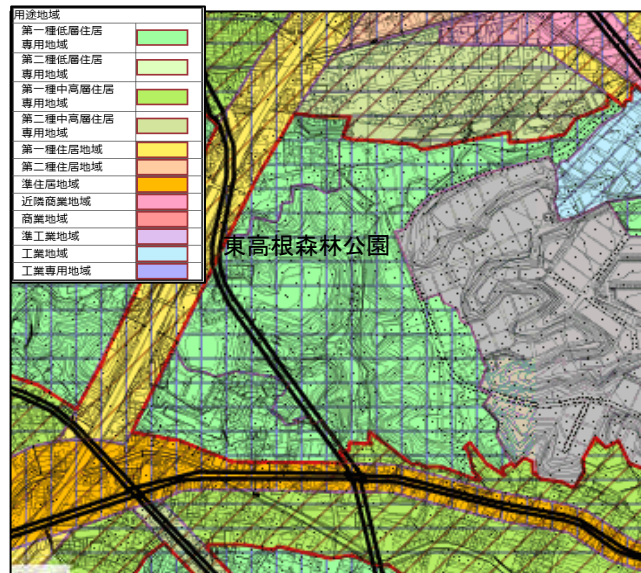


県立都市公園基礎データ

公園名	東高根森林公園
公園の特徴	本公園は、川崎市のほぼ中央部、東名高速道路と市営緑ヶ丘霊園に隣接した緑豊かな樹木に囲まれた地区に位置する風致公園です。公園内には弥生時代の集落跡で県指定史跡の東高根遺跡、県指定天然記念物のシラカシ林(推定樹齢150年)や湿生植物園・古代植物園を有するなど特徴的な公園となっていることから、オープンスペースや自然環境とのふれあいなどのほか、近隣小中学校の自然観察の場としても数多く利用されています。
アクセス	JR南武線「武蔵溝ノ口駅」、田園都市線「溝の口駅」南口より、川崎市営バス乗車、「森林公園前」で下車
	小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口より、川崎市営バスで乗車、「森林公園前」で下車
	JR南武線、小田急線「登戸駅」より川崎市営バスに乗車、「神木本町」で下車
	東名高速道路「東名川崎IC」より10分
駐車場台数	86台(一部期間有料)、大型バス、マイクロバスは要事前連絡
主要施設	ピクニック広場、自然池泉とあずまや、パークセンター、ケヤキ広場、古代植物園、古代芝生広場、花木広場、湿生植物園
既設収益施設	なし
建設費率	0.51%
平成29年度来園者数	376,126人
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化区域(第1種低層住居専用地域)
主な法規制等	埋蔵文化財包蔵地、鳥獣保護区

都市計画図(出典:川崎市ホームページ)



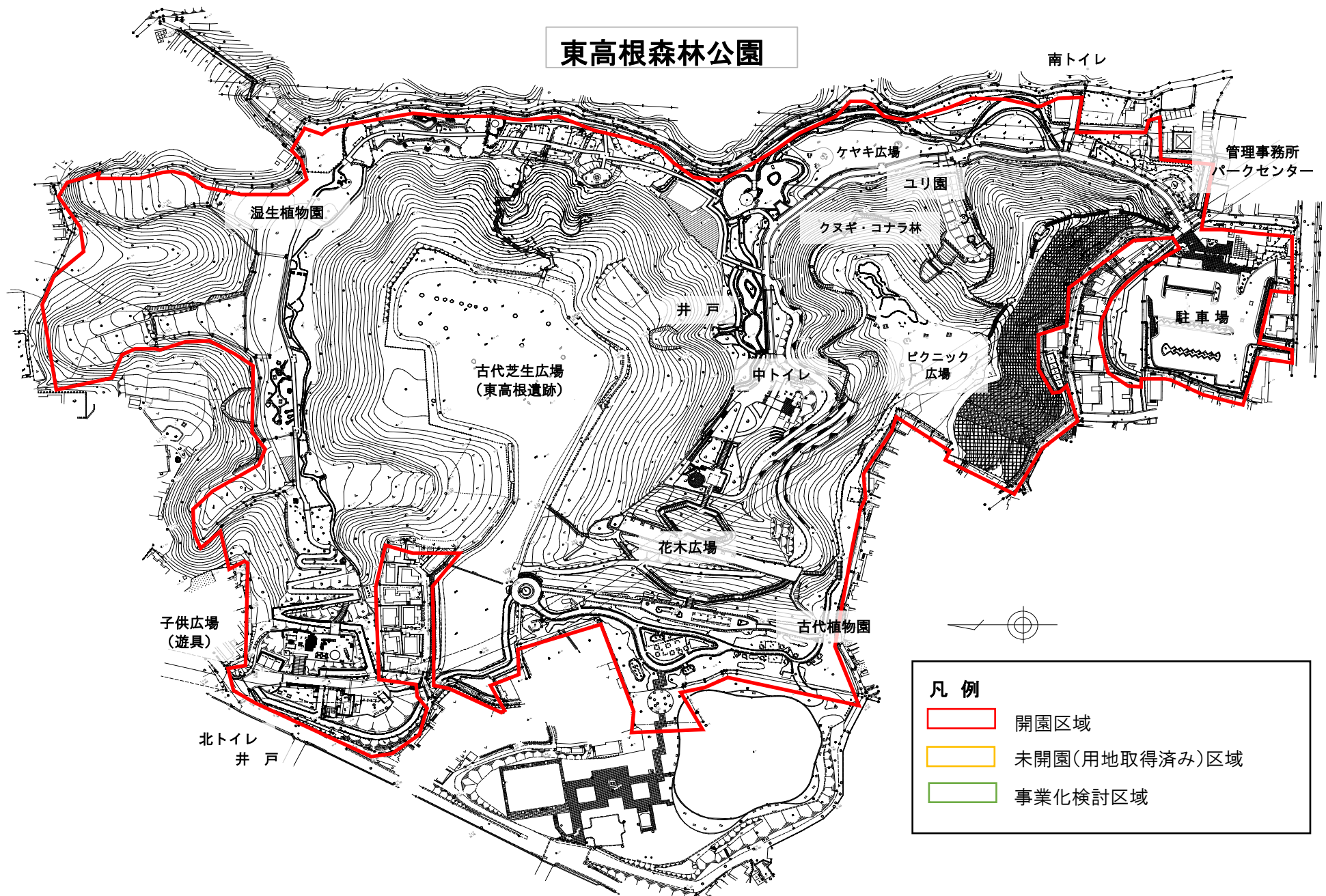
埋蔵文化財包蔵地(出典:川崎市ホームページ)






鳥獣保護区等位置図(出典:神奈川県ホームページ)



東高根森林公園



凡例

	開園区域
	未開園(用地取得済み)区域
	事業化検討区域

県立都市公園基礎データ

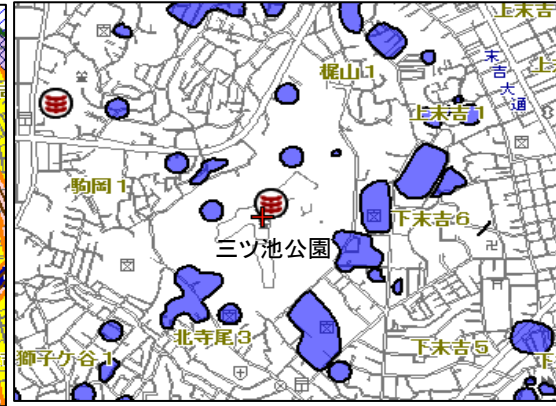
公園名	三ツ池公園
公園の特徴	本公園は、JR鶴見駅の北西約1.8kmに位置し、名前の由来にもなっている三つの池を豊かな樹林が囲んでいます。この公園の最大の特徴は、日本の「さくら名所100選」に選ばれるほど、さくらが見事なことです。2月中旬に開花する寒桜を皮切りに、78品種およそ1600本のさくらが少しずつ時期をずらして花を咲かせ、私たちを長い間楽しませてくれます。このほか、野球場、多目的広場、テニスコート、プールといった運動施設や、パークセンター、コリア庭園など様々な施設を備え、多様なニーズに対応する総合公園です。
アクセス	JR「新横浜駅」より市営バス6系統、104系統の「鶴見駅西口」行きに乗車、「三ツ池公園北門」を下車 JR「鶴見駅」西口「鶴見駅入口」バス停から市営バス6系統、67系統、104系統の「梶山」行きまたは「新横浜」行きに乗車、「三ツ池公園北門」を下車 首都高速神奈川7号横浜北線「岸谷生麦IC」から約8分(3.8キロメートル)
駐車場台数	大型6台、普通車146台、身障者用4台(北門駐車場:大型車6台、普通車91台、身障者用2台、正門駐車場:普通車55台、身障者用2台)(一部期間有料)
主要施設	遊びの森、広場、上の池・中の池・下の池、ジャンボ滑り台、多目的広場、テニスコート、軟式野球場、パークセンター、プール、コリア庭園、分区園
既設収益施設	テニスコート、軟式野球場、プール、多目的広場、売店
建ぺい率	0.70%
平成29年度来園者数	1,652,476人
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化区域(第1種低層住居専用地域)
法規制等	第3種風致地区、埋蔵文化財包蔵地、鳥獣保護区

都市計画図(出典:横浜市ホームページ)

埋蔵文化財包蔵地(出典:横浜市ホームページ)

鳥獣保護区等位置図(出典:神奈川県ホームページ)

用途地域等 凡例	
	第1種低層住居専用地域
	第2種低層住居専用地域
	第1種中高層住居専用地域
	第2種中高層住居専用地域
	第1種住居地域
	第2種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域(第7種高度地区)
	商業地域(第6種高度地区)
	商業地域(最低限1種高度地区)
	商業地域(最低限2種高度地区)
	準工業地域(第5種高度地区)
	工業地域(第5種高度地区)
	工業地域(第7種高度地区)
	工業専用地域
	用途界
	地番界(区域区分のみ)
	地形地物界等(区域区分のみ)
	最低限3種高度地区
	市街化調整区域
	都市計画道路
	都市計画河川



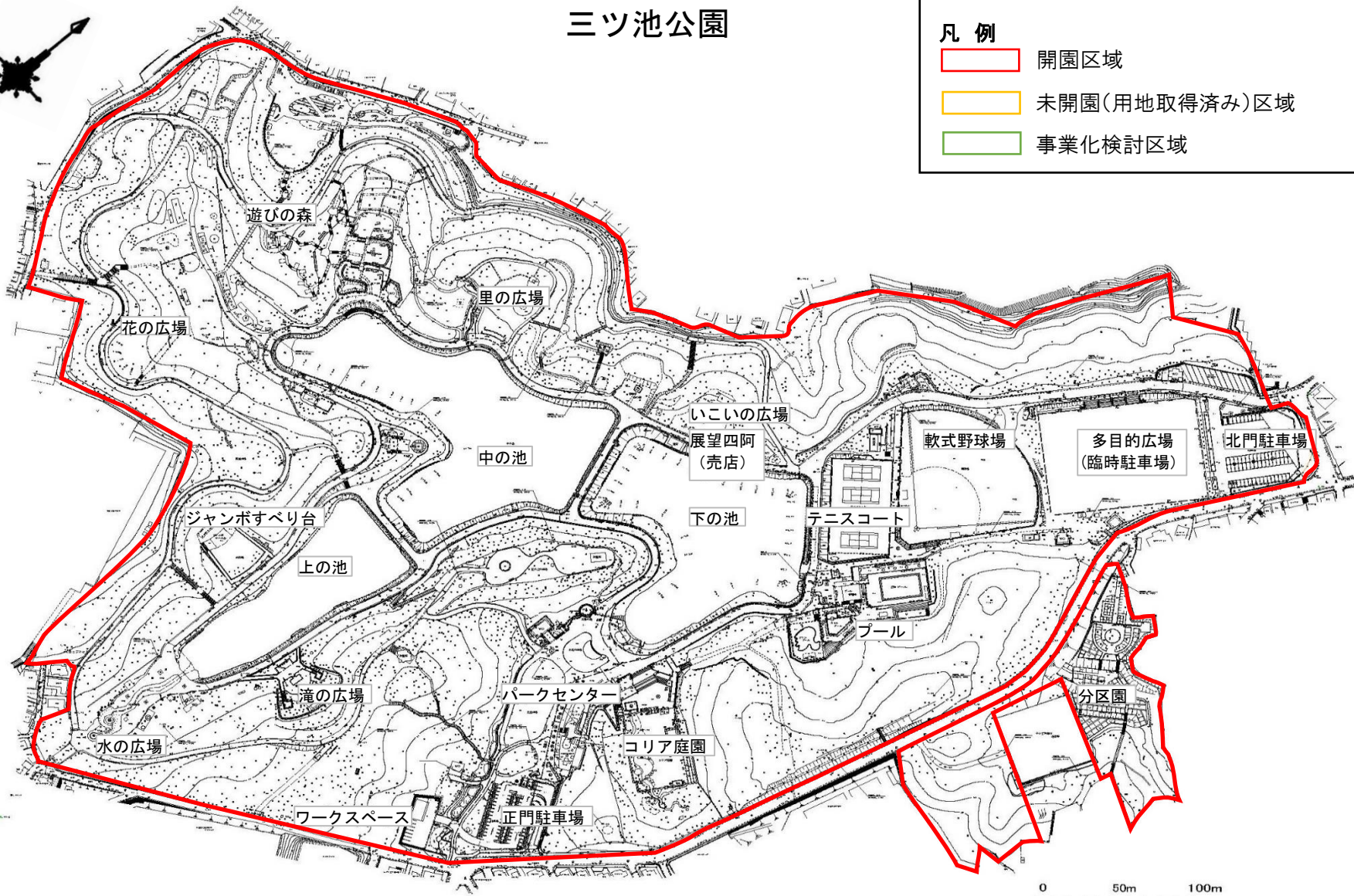
文化財ハマSite 凡例	
	国県市指定・登録文化財所在
	国県市指定・登録文化財範囲
	埋蔵文化財包蔵地



三ツ池公園



- 凡例
- 開園区域
 - 未開園(用地取得済み)区域
 - 事業化検討区域

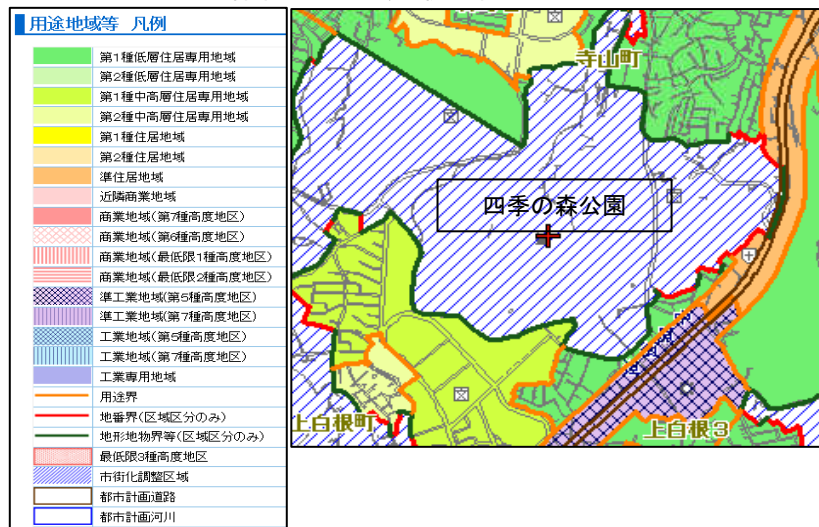


0 50m 100m

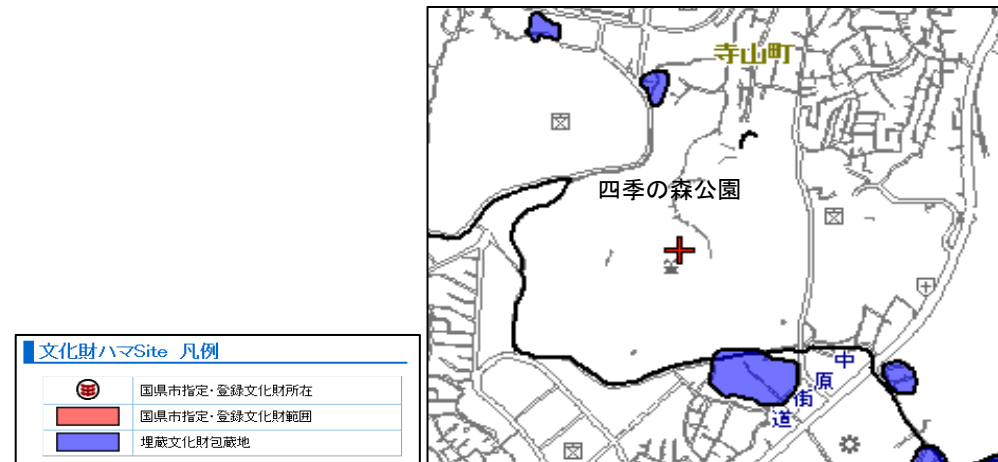
県立都市公園基礎データ

公園名	四季の森公園
公園の特徴	本公園は、JR中山駅の南約1kmに位置し、新緑、万緑、紅葉、冬木立と装いを変える樹林とともに、季節ごとの野の花や野鳥、ホタルなどの生き物たちが鮮やかな四季を奏でています。また、市街地内に残された貴重な自然の宝庫を背景に、田んぼや湿原、雑木林、水車小屋などが作る風景は、「里山」として多くの人が心に思い描く「ふるさと」であり、これらを活かして、里山の体験や豊かな自然を体感できる風致公園です。
アクセス	JR横浜線中山駅南口、横浜市営地下鉄グリーンライン中山駅2番出口から公園北口まで徒歩約15分 横浜市営バス「136系統 よこはま動物園」行き、相鉄バス「旭11 鶴ヶ峰駅」行き、「旭13 よこはま動物園」行き、「旭14 よこはま動物園」行き「長坂」バス停下車(所要時間約7分)公園南口まで徒歩約3分 相鉄バス「旭11 中山駅」行き「長坂」バス停下車(所要時間約18分)公園南口まで徒歩約3分 首都高速神奈川3号狩場線「下川井IC」から約15分。
駐車場台数	普通車165台(大型車の専用駐車スペースなし)(一部期間有料)
主要施設	池、春の草原、あし原湿原、しょうぶ園、さくらの谷、清水の谷、じゃぶじゃぶ池、展望台
既設収益施設	ともしびショップ四季の森店
建ぺい率	0.23%
平成29年度来園者数	669,955人
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	埋蔵文化財包蔵地

都市計画図(出典:横浜市ホームページ)



埋蔵文化財包蔵地(出典:横浜市ホームページ)



凡例

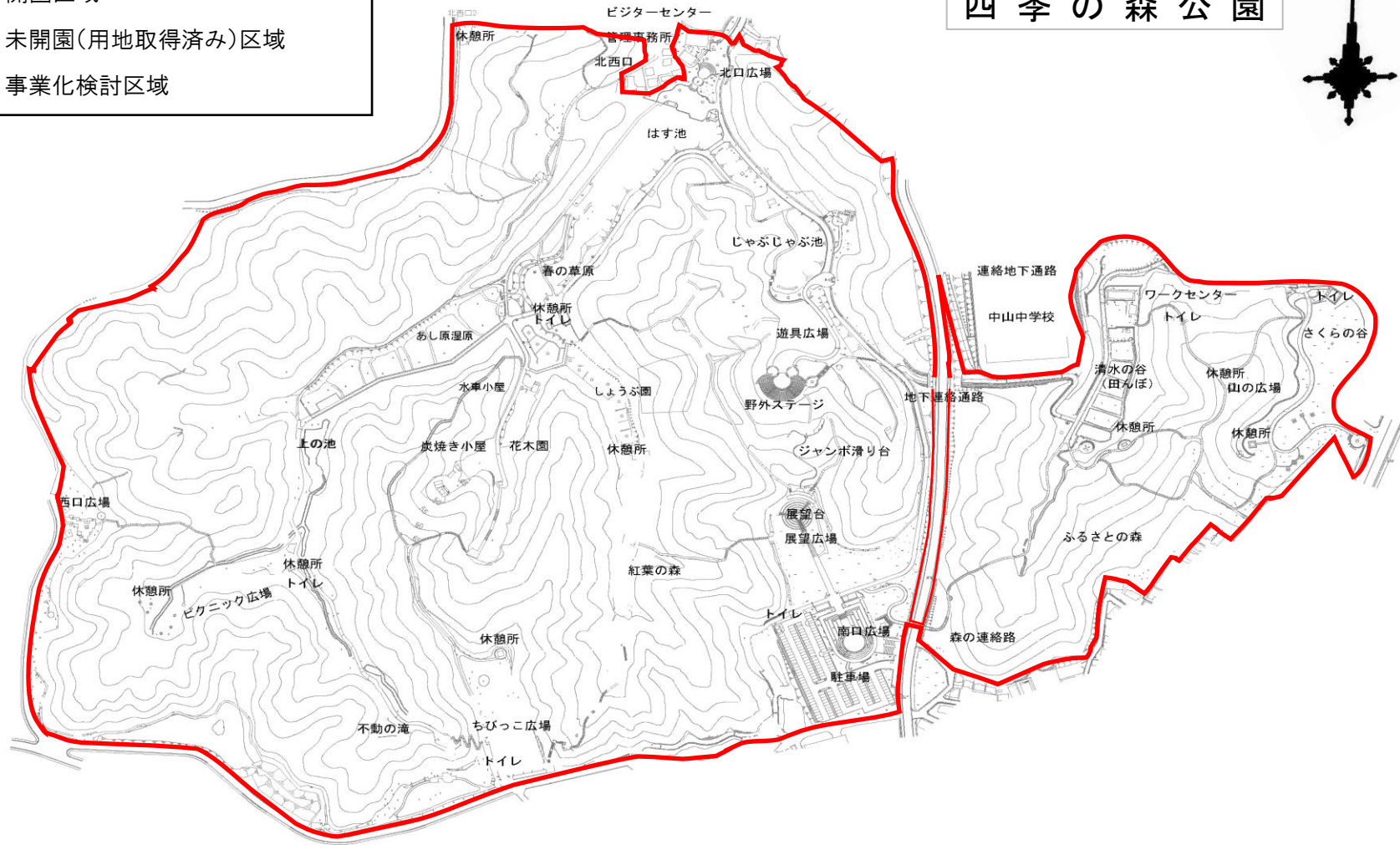
開園区域

未開園(用地取得済み)区域

事業化検討区域

至 中山駅

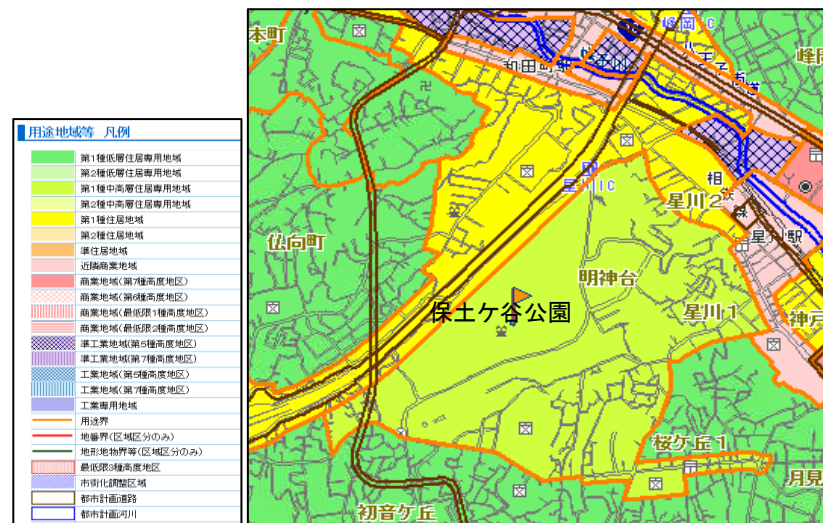
四季の森公園



県立都市公園基礎データ

公 園 名	保土ヶ谷公園
公 園 の 特 徴	本公園は、JR横浜駅から西南西約3.5km・保土ヶ谷駅の北西約1.5kmの丘陵に位置する、県内で最初に誕生した運動公園です。戦後間もないころに産声をあげて以来、野球場、サッカー場、ラグビー場など、次々と運動施設を整備してきました。また、これと併せて、いこいの広場、噴水広場、梅園などを整備し、現在では、スポーツとやすらぎのある公園として、広く県民に親しまれています。なかでも、高校野球の県大会会場としての硬式野球場、2002年サッカーワールドカップ大会の公式練習場となった天然芝グラウンド、人工芝化したラグビー場、さらには文化活動の拠点となる「かながわアートホール」とその周辺広場など、スポーツと文化の拠点として高い位置づけがなされています。
ア ク セ ス	JR保土ヶ谷駅西口より横浜駅西口行きまたは保土ヶ谷駅行き循環(25系統)バス10分、保土ヶ谷野球場前下車
	横浜駅西口より保土ヶ谷駅西口行き(4番のりば25系統)バス30分、保土ヶ谷野球場前下車
	相鉄線星川駅より保土ヶ谷駅西口行き(25系統)バス7分、保土ヶ谷野球場前下車
	横浜新道「新保土ヶ谷IC」よりすぐ
駐 車 場 台 数	大型10台 普通366台(臨時410台)[内身障者用7台] (A駐車場:大型5台 普通219台、B駐車場:大型5台 普通147台)(有料)
主 要 施 設	硬式野球場、軟式野球場、少年野球場、テニスコート、プール、梅園、ラグビー場、ピクニック広場、サッカー場、体育館、公園ギャラリー、噴水広場
既 設 収 益 施 設	硬式野球場、軟式野球場、少年野球場、テニスコート、オートテニス、プール、ラグビー場、サッカー場、体育館、売店、軽飲食店(CAFE CUE)
建 べ い 率	2.83%(都市公園法施行令第6条第2項に基づく特例措置)
H29 年 度 来 園 者 数	835,734人
管 理 手 法	指定管理者制度
用 途 地 域 等	市街化区域(第1種中高層住居専用地域)
主 な 法 規 制 等	第4種風致地区

都市計画図(出典:横浜市ホームページ)



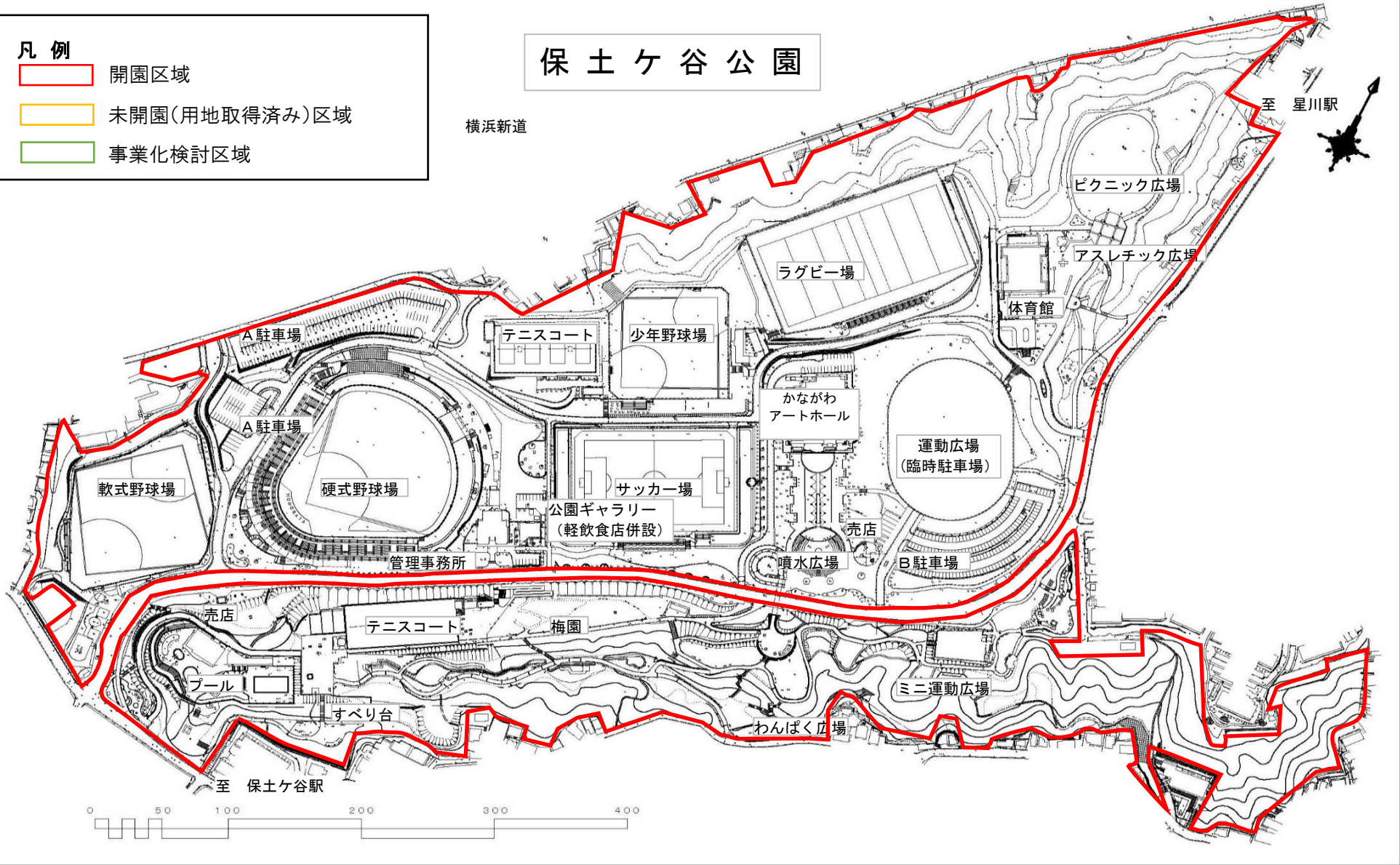
凡例

- 開園区域
- 未開園(用地取得済み)区域
- 事業化検討区域

保土ヶ谷公園

横浜新道

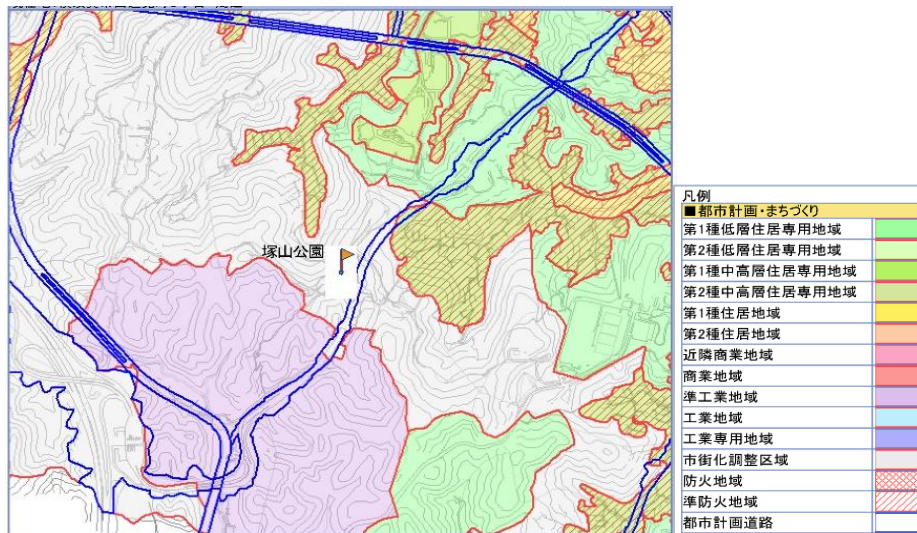
至 星川駅



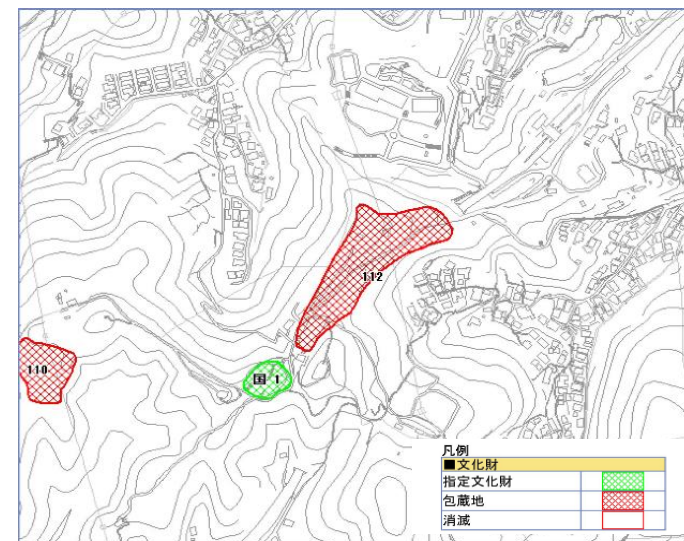
県立都市公園基礎データ

公園名	塚山公園
公園の特徴	横須賀港を望む高台に位置し、周辺には常緑樹の林が広がっています。本公園は、地元住民から県への土地や立木の寄付により公園が開設され、現在でも地元町内会有志等により管理されている経緯があります。また、サクラの名所であること、三浦半島におけるハイキングの主たる中継地点であること、砲術や造船術、航海術などを日本に伝えたウィリアム・アダムズ(日本名:三浦按針)の墓といわれる「按針塚」(国指定史跡)が公園に隣接していることも特徴として挙げられます。サクラの花見時期には、特に利用が集中します。
アクセス	京急線「按針塚駅」から徒歩20分 京急「逸見駅」から徒歩約25分
駐車場台数	なし
主要施設	見晴台、中央広場、港の見える丘、富士見台、芝生広場、さくら谷
既設収益施設	なし
建ぺい率	0.49%
H29年度来園者数	52,865人
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	第1種風致地区、埋蔵文化財包蔵地

都市計画図(出典:横須賀市ホームページ)

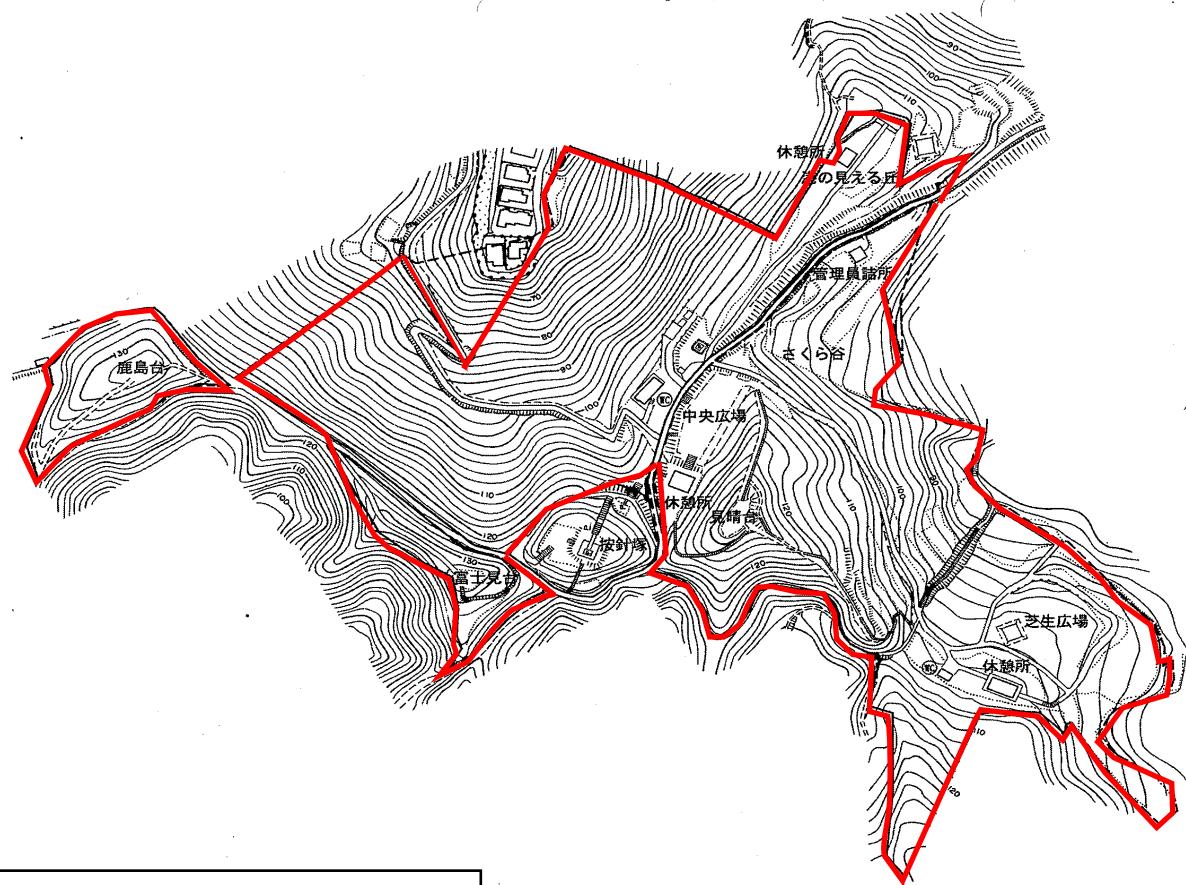


埋蔵文化財包蔵地(出典:横須賀市ホームページ)






塚山公園

塚山公園



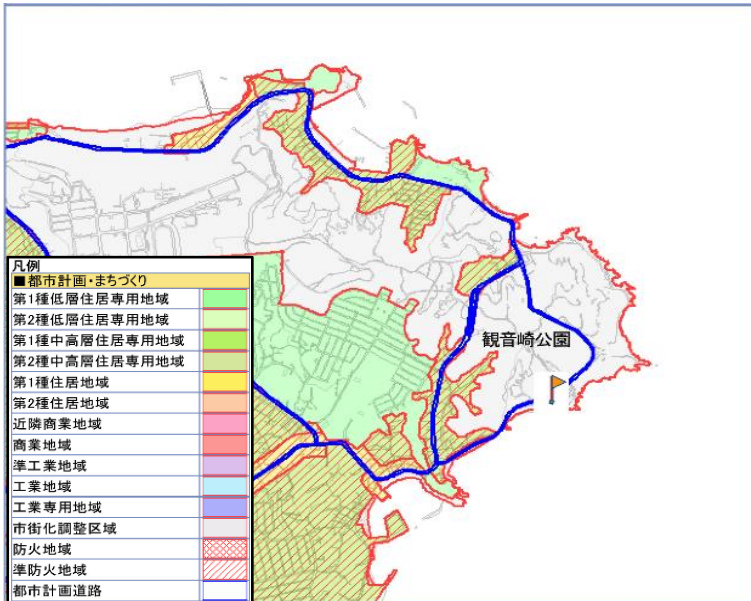
凡例

-  開園区域
-  未開園(用地取得済み)区域
-  事業化検討区域

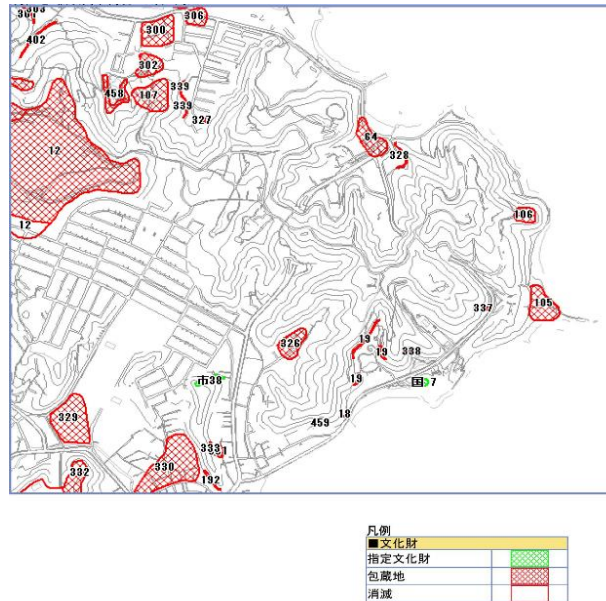
県立都市公園基礎データ

公園名	観音崎公園
公園の特徴	本公園は東京湾に大きく突きだした半島の先端に位置し、東京湾では数少なくなった自然海岸の環境を残しています。本公園の特徴としては、希少なシイやタブなどを中心とした照葉樹林と磯浜、観音崎灯台、砲台跡などの歴史的遺産、縄文時代の横穴墓群などがあげられます。また、公益社団法人観音崎自然博物館と連携した自然観察会や、各種ボランティア団体による公園案内、樹木の手入れ、植物の保全等、公園内の自然・景観・歴史の資源を活用した様々な利用促進や維持管理の活動が活発に行われています。
アクセス	京急線「浦賀駅」から「観音崎」行きバス約15分 JR横須賀線「横須賀駅」から「観音崎」行きバス約35分 横浜横須賀道路「馬堀海岸IC」約5分
駐車場	大型9台、普通車384台(第1駐車場50台、第2駐車場131台、第4駐車場57台(臨時)、第5駐車場41台、第6駐車場105台)(有料)
主要施設	アスレチックの森、森のロッジ、花の広場、三軒家園地、観音崎園地、うみの子とりで
既設収益施設	横須賀美術館、観音崎自然博物館、レストランマテリア、レストランアクアマーレー(横須賀美術館内)
建ぺい率	1.07%
H29年度来園者数	868,901人(平成29年度実績)
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	第1種風致地区、埋蔵文化財包蔵地、鳥獣保護区

都市計画図(出典:横須賀市ホームページ)



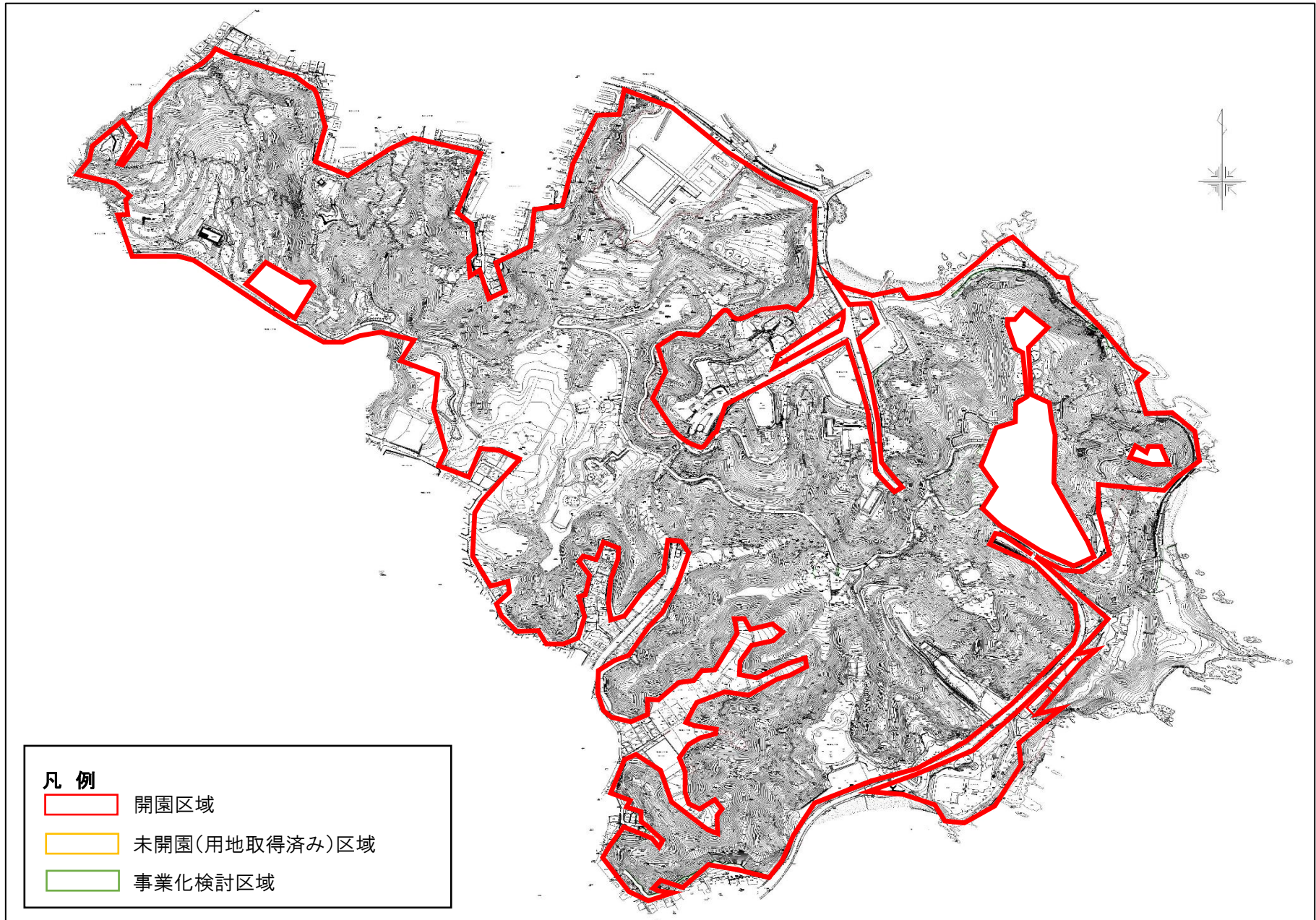
埋蔵文化財包蔵地(出典:横須賀市ホームページ)



鳥獣保護区等位置図(出典:神奈川県ホームページ)



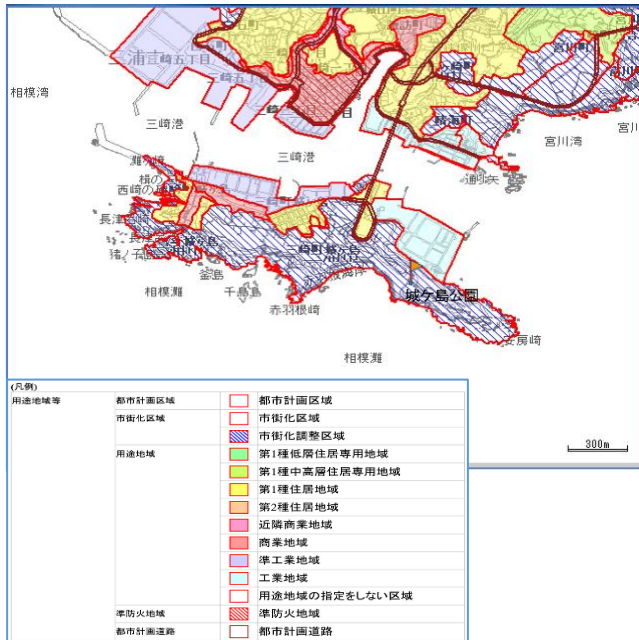
観音崎公園



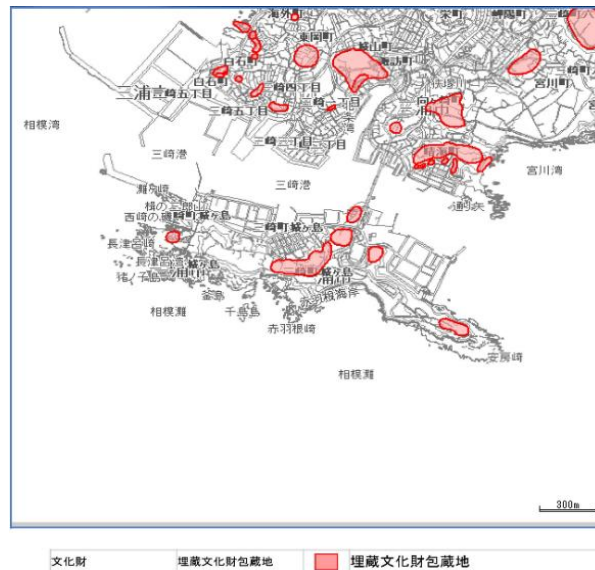
県立都市公園基礎データ

公園名	城ヶ島公園
公園の特徴	本公園は、三浦半島最南端に位置しており、周囲を海に囲まれていることから、園内から海を見渡すことのできる雄大な景観や、海浜植物や野鳥が生息する貴重な自然海岸を含んだ自然環境が特徴です。園内では、一年を通して、海食崖と砂浜が混在する自然海岸や段丘状に広がるマツ林を、季節により、海浜植物であるハマオモトやイソギク、県指定天然記念物のウミウ、ヒメウ、クロサギなどを観察できます。また、初春の八重咲きスイセンは、毎年、県内外からの来園者で人気を博しています。
アクセス	京急線「三崎口駅」から「城ヶ島」行きバス約20分「白秋碑前」下車徒歩約5分 三浦縦貫道路「林C」約10km
駐車場台数	大型26台、普通車172台(有料)
主要施設	緑陰広場、うみのね広場、ピクニック広場、ウミウ展望台、正面ゲート、第1・第2展望台
既設収益施設	なし
建ぺい率	0.35%
H29年度来園者数	287,300人
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	第1種風致地区、保安林、鳥獣保護区

都市計画図(出典:三浦市ホームページ)



埋蔵文化財包蔵地(出典:三浦市ホームページ)



鳥獣保護区等位置図(出典:神奈川県ホームページ)



城ヶ島公園

